

■二条良基 公卿，連歌師。時代激動で本職翻弄のなか，救済と連歌道確立，武家社会の文化的価値を初めて認めた。

にじょうよしもと

・ ・ ・ ・ ・ 1320＝ 京都で，西園寺公顕の娘婉子を母に，_関白二条道平の嫡子に生まれる。

・ ・ ・ ・ ・ 1327＝ 7歳：元服。正五位下侍従となり，

疎石円覚寺・1329＝ 9歳：わずか2年で，_正三位権中納言に昇進したが，

元弘の変・ ・ 1331＝11歳：_元弘の変で，天皇が隠岐島に流され，父も倒幕関与を疑われて幽閉となり，自らも地位を追われ，二条家は鎌倉幕府から断絶を命じられる。

鎌倉幕府滅亡1333＝13歳：_幕府滅亡で，復帰，後醍醐天皇に仕え，建武政権の中枢となり，姉が入内，自らも正二位となるが，

・ ・ ・ ・ ・ 1335＝15歳：_父が急逝し，

南北朝分裂・1336＝16歳：_建武政権が崩壊して南北朝分裂すると，後見だった二条師忠とともに，北朝に留まり，光明天皇に仕え，

足利尊氏将軍1338＝18歳：左近衛大将，

・ ・ ・ ・ ・ 1339＝19歳：母が死去。

・ ・ ・ ・ ・ 1340＝20歳：内大臣に任命される。

・ ・ ・ ・ ・ 1341＝21歳：二条師忠が死去。

・ ・ ・ ・ ・ 1343＝23歳：_右大臣に任命され，左大臣になった洞院公賢とは，以後ライバルとなる。

・ ・ ・ ・ ・ 1345＝25歳：_連歌は若年より救済に師事。和歌は京極風から二条風に転じて頼阿に学び，自ら有職故実の権威を任じ，役職にも異議。***最初の連歌論書「僻連抄」(「連理秘抄」草案本)成る。**

・ ・ ・ ・ ・ 1346＝26歳：_関白初任，

・ ・ ・ ・ ・ 1347＝27歳：

基氏鎌倉公方1349＝29歳：_「連理秘抄」，

・ ・ ・ ・ ・ 1351＝31歳：_尊氏が南朝に屈し，正平一統が成立したため，関白を停止され，心労で倒れるも，再起の行動を起こし，

観応の擾乱終1352＝32歳：_北朝復活すると，將軍の意向で，関白還補。公賢一派は失墜。頼阿が良基の「後普光園院殿御百首」に跋。

・ ・ ・ ・ ・ 1353＝33歳：_南朝側の反撃受け，將軍義詮の命で，天皇連れ退去。「小鳥のくちざさみ」，

・ ・ ・ ・ ・ 1354＝34歳：_再び，南朝側の反撃で近江に退避し，

・ ・ ・ ・ ・ 1355＝35歳：_將軍家の配慮で食糧が配給されるほど，公卿も困窮するが，自邸に千句連歌を張行する(「文和千句」)。

菟玖波集・ ・ 1356＝36歳：***救済の協力を得て連歌最初の準勅撰集「菟玖波集」を編集。**

足利尊氏没・1358＝38歳：「撃蒙抄」。**_一乗院衆徒の焼打事件で，関白を辞任するが。内覧のままで，自ら太閤を号して権勢。**

・ ・ ・ ・ ・ 1360＝40歳：_再び，関白還補。洞院公賢が死去。

山名時氏征討1363＝43歳：***「愚問賢註」(二条良基問・頼阿答)を著し，二条派歌風の庇護者の地位を確立。文壇の指導者となり，**

・ ・ ・ ・ ・ 1365＝45歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1366＝46歳：由阿，上洛して二条良基に「万葉集」を講ずる。自邸に「年中行事歌合」(冷泉為秀判)を催す。

・ ・ ・ ・ ・ 1367＝47歳：_將軍義詮の要請で，関白を鷹司冬通に譲るも，朝廷内の権勢は変わらず，

足利義満将軍1368＝48歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1369＝49歳：_長男師冬が関白就任。

・ ・ ・ ・ ・ 1371＝51歳：後光厳天皇が後円融天皇に譲位すると，興福寺内紛が再燃，

応安新式・ ・ 1372＝52歳：_「応安新式」を制定，

鎌倉五山制定1373＝53歳：元凶とみなされて，放氏騒動。良阿に「古今集」の秘説を受ける。

観世父子登場1374＝54歳：翌年にかけて，ようやく後円融天皇即位の行事。

・ ・ ・ ・ ・ 1375＝55歳：観阿弥の子世阿弥の舞を賞賛し，藤若の名を与える。「万葉詞」成るか。

高麗倭寇激化1376＝56歳：九条道家以来の准三后。「九州問答」成る。

室町御所・ ・ 1378＝58歳：足利義満への礼儀作法講義始まる一方，_長男師冬が突如発狂，廃嫡となる。

義満親政始・1379＝59歳：_足利義満に「連歌十様」を書き与える。次男師嗣が関白に就任。

・ ・ ・ ・ ・ 1381＝61歳：_義満の奏上で，太政大臣。

義満全権掌握1382＝62歳：「後普光園院御抄」「女房の官しな事」を著す。**_摂政。「新後拾遺和歌集」仮名序で，勅撰集序としては初めて武士階層(足利氏)の政治的業績を評価するなど，進歩的，現実主義的な思想で北朝保持に努めた。**

義満准三后・1383＝63歳：「十問最秘抄」を大内義弘に書き与える。

・ ・ ・ ・ ・ 晩年には足利義満のサロンを指導し，義堂周信や世阿弥とも交わり，北山文化を創造した一人であった。**摂関家の公卿でありながら当時の武士・地下階層の文化的エネルギーを汲み取り，とくに連歌の文芸的価値の向上に尽力した功績は大きい。**

南禅寺五山上1386＝66歳：「嵯峨野物語」を著す。

・ ・ ・ ・ ・ 1387＝67歳：「近來風体抄」を松田貞秀に書き与える。**_太政大臣を辞任し，近衛兼嗣に摂政を譲るが，**

周信+良基没1388＝68歳：***兼嗣が急逝して，摂政に任じられるも，没した。**

・ ・ ・ ・ ・ 「百寮訓要抄」「思ひのままの日記」「異名証歌集」。